

〈多摩大学 公認サークル Siesta〉サークル活動から主体的な学びを

経営情報学部 事業構想学科2年 佐保 尚寿

公認サークル Siesta は、今年度から活動を始めた活動期間の短いサークルです。講義のない時期になる夏休みや冬休みを使って、国内を中心に旅行を行うことが主な活動となります。今年度の9月上旬には広島県、2月上旬には大阪府を訪れました。

創設のきっかけですが、代表である私や創設に関わってくれた学生の多くが、サークルに所属していなかったことが創設に至る第一歩となりました。現在、活動しているサークルとは異なる活動をしてみたい、活動を多くの人に伝えたいような内容は何かとといったことを中心に考えた結果、国内を中心に学生のみで観光を行うことで、訪れる場所を知り、多くの人に伝えることを活動のメインに据えました。

これを実践するため、夏に行う観光を中心に1年間かけて多くの研究を行います。今年度は、9月に広島県を目的地として設定しましたが、目的地を設定する段階から調査を行います。金銭的な理由ももちろんではありますが、なぜその場所を選ぶのか、訪れた上でどのような実感が得られるのか、といった「行く意味」に着目することで訪れる場所を事前に深く知るように心がけます。そして、最も重視していることは訪れた後の実感です。事前に多くの角度から観光地について調べますが、やはり行ってみなければ分からないことは非常に多いです。また、その土地での感じ方も十人十色です。この「気持ち」を多くの人に伝えていくことが本サークルの最大の目的であり、旅行をする上での醍醐味であると私は考えます。このそれぞれの「気持ち」を多くの人に知ってもらいたいという想いから、本学で12月に開催されるアクティブ・ラーニング発表祭への参加も決意しました。雑誌やインターネットに掲載されている情報よりも実際に訪れた「生の声」を聴いていただけたらと思います。

このような目標を達成するために、今年度の夏に訪れた場所が広島県でした。今年度は「負の遺産」テーマに設定し、第二次世界大戦時の日本の隆盛と、悲劇の両面の特性を有する広島県は、今年度のテーマに適していました。また、関東圏で生活してきた学生が多い本学では、西日本を訪れたことがない学生が多く、「行ってみたい」という想いも反映できる場所でした。かつて造船技術の最先端であった呉市、原爆の被害を物語る広島市、日本三景に数えられる宮島など豊富な観光資源を体感することができました。特に今年のテーマとして挙げた「負の遺産」を一度に多くの場所で学べたことは、当時の背景を知ることができる良い観光になったと思います。

創設から1年も経過していないサークルではありますが、サークルを選ぶ際には、多くの人に興味を持っていただきたいと思っていま

す。旅行や観光を主体的に行うことは、知見を深めるための最適な方法です。さらに、知っているエリアが増えることで、始めて出会った人と話す会話に困ることはまずありません。本サークルにも様々な都道府県の出身者がいますが、いわゆる「地元（地方）の話」で事欠かないのは事実です。本学では多摩地域からの出身者が多く、東京都が中心になる生活をしている学生には少し足りない部分だと考えられます。その欠点を補うべく、多くの学生に本サークルに関わって欲しいことが私の願いです。グローバル化が進み、外国の方に詳細な日本の部分を説明する能力を獲得することは大前提として、日本国内でも土地や風土による文化の違いに触れることは多々あります。このような国内でも学べる環境を十分に活用し、訪れた場所に詳しくなることがサークルに加入した人々への願いです。サークルに加入している人も加入していない人にも、国内の観光資源を中心に知見を深められる組織にしていきたいと思っています。

最後になりますが、「Siesta」という言葉は、スペイン語で「昼寝」という意味を持っています。昼食後に睡眠をする文化を持つスペイン人のように、気軽に旅行や観光をしてほしいという想いからこの名前を付けました。昨今は航空券や宿泊料の価格競争や、若年層に向けたプランも多くあります。サークルに加入することはなくても、このようなチャンスを利用し、多くの学生に気軽に旅行を楽しんでもらいたいと思います。



宮島までのフェリー内にて



厳島神社内にて



呉市海事歴史資料館前にて



多摩祭でのポスター展示

多摩大学多摩祭

経営情報学部学生会執行部長 3年 田島 凜太郎

2019年11月9日、10日の2日間は多摩祭を開催しました。今年度のテーマは「時代～過去・未来へタイムスリップ～」。元号が平成から令和に変わること、時代が大きく移り変わるということを意味しています。

今年は昨年に引き続き、縁日や“仮面ライダーの仮面ライダーゼロワンショー”、“スタートウインクル☆プリキュアショー”など子供に人気のコンテンツもたくさん企画しました。また、後夜祭には、お笑い芸人の紺野ふるまさん、みなみかわさんも来てくれ、ビンゴ大会ではとても豪華な景品をご用意しました。多くの方が楽しめる様々なコンテンツにより、多摩大学の学生や、中高生、地域の子供たちやその保護者の方など、数多くの方に来場して頂くことができました。



ハロウィン・クリスマス

2019年10月、キャンパス内にはハロウィンの飾りつけが施され、とても楽しい雰囲気を出していました。また、11月からは巨大なクリスマスツリーが飾られました。この二つの飾りつけ、実は多摩大学に留学してきた留学生の学生が飾りつけを手伝ってくれています。なかなか、多摩大学の学生と留学生が交流を深める機会が少ないなか、留学生から積極的に多摩大学に関わってくれることはとても嬉しいことだと思います。



今年度は、積極的な学生がとても多く、新規サークル設立の申請が来ました。また、昨年度設立が認められたサークルは、準公認サークルから公認サークルに昇格するため多くの新入生を勧誘したりなどサークルの活動が活発になってきています。

多くの学生から、多摩大学はサークルの数が少ないという意見を頂くことに憤りを感じることがありましたが、積極的な学生が増えサークルが増えることで学内が活性化していくのはとても嬉しく思います。また、既存のサークルで昨年度は多摩祭に出店していなかったサークルも今年は出店しているなど、全体的に積極的に学内を盛り上げようとしてくれる学生が多くなってきていると感じます。

学生会執行部として、多くのサークルや学生が積極的に活動してくれるのはとても嬉しく思い、またこれからも期待していきたいと感じています。

SGSでの4年間

結論から言うと私はSGSに入学してよかったと思っています。そのように思った理由をいくつかお話しします。

まず、私がSGSを選んだ理由は高校の頃から航空業界で働きたいという夢があり、大学では観光やホスピタリティについて学びたかったからです。しかし、通学に片道1時間40分程かかることには本当に頭を悩まされました。1年生の頃は慣れない課題や居酒屋でのアルバイトをこなしながら、週5日ある1限の授業に出席することがとても大変で、何度もくじけそうになりました。しかし、AEPで同じクラスだった友人に助けられながら遅刻をほとんどすることなく、なんとか単位を取ることができました。1年生頃はとにかく大学生活に慣れることを目標に日々の生活を送っていました。

学校生活に慣れてきた頃、私は学内の留学プログラムを利用して海外留学に2回行きました。どちらも長期の留学ではありませんでしたが、とても貴重な経験となりました。

1回目の留学は、1年生の春休みに参加したシンガポールの海外研修です。初めての海外だったので不安でしたが、研修を通じて留学先の大学で友人がたくさんできました。そこで出会ったシンガポールの友人とは今でも交流があります。

2回目の海外留学は2年生の春休みに1ヶ月間行った、カナダのビクトリアでの語学留学です。日本から1ヶ月離れてホームステイをすること、ホストファミリーには日本語が通じないことなどシンガポールに行ったときより大きな不安がありました。しかし、今しかできないと感じて挑戦しました。最初の1週間は生活に慣れることに本当に苦労しましたが、ホストファミリーや留学先の大学で積極的に会話をする中で、英語の聞き取りが少しずつできるようになりました。留学中は学校に通うだけでなく、友人とよく街に出かけました。バスで遠くまで行ったり、買い物をしたりととても充実していました。何をすることも英語を話すことになるので、全てが勉強の毎日でした。

英語をうまく話すことが出来なくてもとにかく一生懸命に伝えることの大切さや、実際に英語を使って会話をする楽しさ



シンガポール研修での1枚

グローバルスタディーズ学部4年 進藤 瑞生

などを2回の留学を通じて学ぶことができました。

最後に、SGSの魅力は先生と生徒の距離が近いことだと思います。少人数制を重視していることからほとんどの授業が多くても40人くらいで、先生が丁寧に指導してくれます。また、就職活動時にも一人一人丁寧なサポートをしてくださり、本当に感謝しています。キャリア支援課の方や、所属ゼミの先生が何度もエントリーシートの添削や面接練習をしてくれました。また、不安なことや悩みを一緒に解決してくれました。同じ業界を目指す友人とも協力しながら就職活動を続けた結果、志望した会社から内定を頂くことができました。SGSは挑戦したいことを手厚くサポートしてくれる学部です。留学や就職活動も内容が明確でなくても、積極的に相談に乗ってくれます。もちろん授業でお世話になった先生からもたくさんの提案をしてもらえます。その環境の中で、私は4年間で沢山の経験を積むことができました。今年度で卒業予定ではありますが、SGSでの学びや経験を今後に活かしながら挑戦を続けていきたいと思っています。



AEPで仲良くなった友人との写真



カナダ留学の時のクラスメートとの1枚

多摩祭 国際交流企画

2019年11月9日・10日の多摩祭にて中国・韓国・ミャンマーからの留学生による地域交流企画として中国のゲーム・モンゴルのおもちゃ（シャガイ）の紹介、留学生の母語を書いた缶バッジ作成、輪投げコーナーを設けました。

準備の段階では、学園祭を経験したことがなく戸惑い気味だった留学生でしたが、当日は積極的にブースを盛り上げ、多くの方に楽しんで頂くことができました。



留学生に英語でインタビュー

2019年11月4日に1年生対象の英語クラス（English Expression）にて、中国・韓国からの留学生に日本での体験や文化の違い等について英語でインタビューをするアクティビティを実施しました。

同じアジア圏の学生が流暢に英語で会話をする姿に、日本人の学生は大きな刺激を受けたようです。



大学コンソーシアム八王子主催 留学生座談会

2019年10月26日に大学コンソーシアム八王子主催の留学生座談会に、本学の留学生が2名参加しました。

高尾山を観光後、コンソーシアム協定校からの留学生とともに、高尾山をより魅力的にするための方策を議論しました。



経営情報学部 秋卒業式

2019年9月24日に令和元年度多摩大学経営情報学部卒業のつどいが行われました。（卒業生8名）

学位記授与の後は和やかに懇親会も行われました。

